



録画映像

Q 筆の里工房周辺整備の今後は

A 町 長

令和9年度中に全体共用できるよう計画し進めている。

Q1

今後の詳細なスケジュールは。

A1

交流施設は令和8年9月、公園も含めた全体完成は令和9年度中を見込んでいる。

Q2

公園施設の遊具に関してどのようなボリュームになったのか。

A2

西防災交流センターの広場にある遊具と同規模を想定していたが、県内の大型遊具の規模や利用状況について調査・研究を行い、遊具の規模を西防災交流センターの2～3倍程度で整備する計画としている。

Q3

創作館オープンに関して、現在の取組は。

A3

指定管理者である筆の里振興事業団と連携しながら、施設内で展開する体験メニューや教室のカリキュラムの精査、専門講師の招聘調整など、オープン時に質の高いサービスを提供できるよう、準備を進めている。

Q4

創作館までの交通の進捗は。

A4

バス事業者に対して、交通手段の確保について要望しており、創作館のオープンに合わせた実現に向けて、継続して協議を行っている。



Q 町内のDX化は

A 町 長

熊野町DX推進計画に基づき、推進していく。

Q1

図書館における年間の貸出し件数は。

A1

令和7年度の貸出し件数は個人、団体、相互貸し借りで156,954冊。対前年比では全体の約3.2%増加。

Q2

近隣市町で行われている電子書籍貸出しシステムの導入は。

A2

導入時のメリットを考えると、住民の利便性が向上し、返却の遅延や紛失のリスクも排除され、事務負担が減り効率化ができる。一方で、システムの導入費や維持費などを考慮し、現時点においては、他の自治体の状況を参考としながら検討をしていくことになる。

Q3

町公式LINEでの書類申請の受付はどのような状況になっているか。

A3

主に情報提供の窓口として活用しており、公式LINE内ですべての申請が完結する機能は備わっていない。

Q4

LINEのチャット機能を活用し、予約まで完結できるシステム構築はできないか。

A4

システム構築に係る多額の初期費用と継続的な維持管理費用、セキュリティ確保という二つの課題があるため、現時点では慎重に対応している。



Q 自転車の交通法が改正された。行政の対応は

A 町 長

交通安全意識の高揚と安全環境の整備に努めている。

Q1

住民に対する周知と啓発活動は。

A1

広島県交通安全協会発行の「交通ひろしま春号」に併せ、自治会内で配布・回覧している。例年実施している街頭啓発キャンペーンで行っていく。

Q2

インフラ整備と安全対策は。

A2

自転車の利用者に対し、安全運転の意識啓発を優先に実行し、道路危険個所の改良は、通学路安全プログラム等に基づき、計画的に取り組んでいく。

Q3

交通安全教育・指導体制は。

A3

中学生に対しては、毎年自転車教室を実施しているが、16歳以上を対象とした交通安全教室の開催は困難な面がある。町の出前講座やイベント等の機会をとらえて周知・啓発を行っていく。

Q4

関係機関との連携は。

A4

警察、学校、自治会等と引き続き連携し、啓発活動を実施する。熊野高校では海田警察と連携し、4月に交通安全指導、啓発を実施したと聞いている。



Q 公用車の適正管理とカーシェア導入は

A 町 長

経費削減に努める。カーシェア導入は検討に至っていない。

Q1

所有車両62台の維持管理経費は。

A1

全体総額で年間約620万円である。

Q2

管理方法、内訳は。

A2

専用車は建設農林部、健康福祉部などで管理を行い、随時利用する11台を財務課で集中管理している。

この11台分の維持管理費は約314万円ほどである。

Q3

稼働率の低い公用車などは、タイムズなどのカーシェアも有効と考えるがどうか。

A3

他市町での導入事例は把握している。本町では検討段階に至っていない。



カーシェアで、もっと便利に、もっと身近に。

必要なときに、必要な時間だけ。カーシェアは、暮らしや移動をサポートする便利なサービスです。

- 必要ときにすぐ使える
スマホで簡単予約・利用
- 維持費・駐車場の節約に
使った分だけの料金で経済的
- 環境にやさしい移動手段
みんなで使って、未来にもやさしく



録画映像



中島 数宜 議員



福田内 邦治 議員